

高等学校第2学年 保健体育科 学習指導案

期 日 平成23年9月29日(木) 第5校時

場 所 熊本県立鹿本高等学校 体育館

指導者 教諭 大城戸 靖雄

1 単元名

「選択球技」(ネット型：バレーボール)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、ネットを挟んで、相対する2チームが主として指・手のひら・腕などを使ってボールを打ち合い、得点を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。技術習得には多くの時間が必要であるが、ルールや場などを工夫することで、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、ゲームを楽しむこともできる。

(2) 系統観

小学校5・6年生でネット型のボール運動について運動の特性に触れる楽しさを中心に学習し、中学校1・2年生でネット型の球技の基本的な動作を習得している。中学校3年生及び高校1年次において、ネット型の基本的な動作の習得と活用について学習してきている。高校2年次以降において基本的な動作の習得を高め活用していく。それぞれの場面において、主体的に取り組むことで、生涯においてネット型の球技に取り組む資質を養成していく。

(3) 児童観(本単元に係る生徒の実態 男子24人、女子0人、計24人)

○体育の授業について、好き・だいたい好きと回答した生徒は95%である。体育に関する興味関心が高い生徒が多い。

○体育が得意・だいたい得意と回答した生徒は77%である。体育授業への生徒の取り組みでは、苦手意識を持っている生徒もいる。

○体育の授業において、上手になりたいと考えながら取り組む生徒は91%である。大半の生徒に思考しながら授業に取り組んでいる姿が見られる。

○言語活動については、自分の考えや意見を表現することに関して意識が高いが、他者への気付きやアドバイスを指摘することについては積極性に欠ける。

○人の動きを見たり、他者からのアドバイスを自分の運動に生かしたりすることについては、積極的に取り組んでいる。

(4) 指導観

○関心・意欲をさらに高めるために主体的な活動を設定し、それらの活動を通して、安全面への配慮や勝敗への公正な態度を育てていく必要がある。

○言語活動においては、自分や他者の動きを言葉で表すことが苦手な生徒が多く、またそのことで体育が苦手だと思っている生徒が見られる。動きを言葉にして他者に伝えていく活動に取り組む必要がある。

○視聴覚機器・教材等を活用しながら、客観的に自分の動きやチームの動きを見たり、他者の動きを表現したりできるような指導法の工夫が必要である。

○自分の動きやチームの動きを言語で表現することが苦手な生徒に対しては、学習シートを活用し書く活動に取り組ませる必要がある。

Aプロジェクト 思考力、判断力、表現力等の育成の視点から

本単元で高める思考力、判断力、表現力等は、チームで作戦を考え、ネット型種目における「戦術」を意識しながら、バレーボールの攻撃や守備を工夫することである。ドリルゲームで基礎的・基本的な技能を身に付け、習得した知識・技能を活用する場面において、課題を明確にしたタスクゲームを設定し、チーム内での動き方が工夫できるようにする。攻防分離型のネット型種目の特性を生かして、作戦タイムによってお互いの考えを伝え合い、筋道を立ててチームの作戦を工夫する言語活動を設定し、思考力、判断力、表現力等を高めていく。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	<p>(1) バレーボールの集団的スキルに着目して、作戦を立てて競い合うバレーボールの楽しさや喜びを味わおうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たそうとする。ゲームでは、ルールを守り勝敗や結果を受け入れようとし、健康・安全に留意しようとする。</p> <p>(2) チームや自分の能力に応じた課題を設定し、バレーボールの集団的スキルを生かして相手との攻防に合った作戦を立てたり、そのための練習の方法や新たな課題を見付けたりできるようにする。</p> <p>(3) チームや自分の能力に応じてゲームができるようにする。また、三段攻撃や守備のフォーメーションなどの集団的スキルを高め、身に付けたスキルを活用して攻防を展開できるようにする。</p> <p>(4) バレーボールの特性に応じた技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解することができるようにする。</p>
運動への 関心・意欲・態度	<p>①練習やゲームの場所の安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しようとする。</p> <p>②バレーボールの集団的スキルに着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わおうとする。</p> <p>③練習やゲームで、自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。</p> <p>④ルールを守り、勝敗の結果を受け入れようとする。</p>
運動についての 思考・判断	<p>①練習やゲームから、自分の課題を見付けている。</p> <p>②練習やゲームから、チームの課題を見付けている。</p> <p>③チームや自分の課題をとらえ、ゲームでの新たな作戦を見付けている。</p>
運動の技能	<p>①パスとレシーブで、ボールをコントロールすることができる。</p> <p>②サービスでコースをねらい、相手コートに入れることができる。</p> <p>③スパイクやブロックの動作ができる。</p> <p>④練習やゲームで、作戦に応じた攻撃の動きができる。</p> <p>⑤練習やゲームで、相手の攻撃に応じた守備の動きができる。</p>
運動についての 知識・理解	<p>①バレーボールの特性について、言ったり、書き出したりしている。</p> <p>②バレーボールに必要なスキルの名称や行い方について、言ったり、書き出したりしている。</p> <p>③バレーボールの基本的なルールについて、言ったり、書き出したりしている。</p>

4 指導・評価の計画 (12 時間取扱い 本時 10/12 時間目)

次時	1	2	3	4
時	1	2～5	6～10 (本時 10 時間目)	11～12
学習活動	○学習のねらいや進め方、シートや用具の使い方を知る。 ○学習のきまりやグループを決める。 ○簡易ゲームをして、バレーボールの特性やルールを知る。	○集合、あいさつ、学習の進め方を確認する。○協力して準備をする。 ○学習 1 (ドリルゲーム) の活動をする。【習得】 ・オーバーハンドパスでのコントロール ・アンダーハンドパスでのコントロール ・相手コートへのサービス ・相手コートへのスパイク 等	○学習 1 (ドリルゲーム) の活動をする。【習得・活用】 ・ボール 1 個でのパス回し ・ボール 2 個でのパス回し ・変化をつけたスパイク ・相手の攻撃へのブロック 等	○学習 1 の活動をする【習得・活用】 ・相手の攻撃に応じた守備の動き ・相手の守備に応じた攻撃の動き 等
		○学習 2 (タスクゲーム) の活動をする。【活用】 ・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス限定のゲーム (3 回以内で返す) ・サーブからのゲーム (3 回で返す) ・スパイクで終わるゲーム (3 回で返す) 等	○学習 2 (タスクゲーム) の活動をする。【活用】 ・三段攻撃を意識したゲーム ・ローテーションを入れたゲーム ・スパイクに変化をつけたゲーム ・相手の攻撃にブロックを入れたゲーム 等	○学習 2 (まとめのゲーム) の活動をする。【活用】 ・学習したことを生かして総当たりのリーグ戦による大会を行う。 ・大会で、審判・ラインズマン・運営係等を役割分担する。
	○学習の振り返りをする。 ○整理運動、後片付け	○学習の振り返りをする。 ○整理運動、後片付け	○学習の振り返りをする。 ○整理運動、後片付け	○学習のまとめをする。 ○整理運動、後片付け
※Aプロジェクトの留意点	・学習計画を示し、見通しを持ち、主体的な学習活動ができるようにする。 ※学習シートへは、自分や友達の動きを言葉で記入させる。	・本時の学習の見通しを持たせ、協力して進めていくためのきまりを確認する。 ・準備を安全に、素早く、協力して行うよう助言する。 ・学習 1 で、スキルの伸びを数値化することで興味関心を高める。 ・学習 2 で、第三者のアドバイスにより、技能のポイントを意識して練習をさせる。 ※運動技能のポイントについて、言葉で指摘し合い練習活動に生かしていく。 ・学習 2 のゲームで、よいチームの動きから身に付けさせたい動きを示す。 ※ゲームの中で、作戦タイムを使い自分や友達の動きを伝え合わせる。	・学習 1 で、声をかけ合うことで、集団的な動きができるようにする。 ・学習 2 のゲームで、作戦を工夫しながら、相手との攻防を続けることを意識させる。 ※上手くいつている時の情報を言葉で互いに交換させる。 ※ゲームの中で、作戦タイムを使い自分や友達の動きを伝え合わせ、作戦を工夫させる。	・学習 1 で視聴覚教材等を利用し、視覚的に生徒の動きを伝える。 ・学習 2 のまとめのゲームで、審判・ラインズマン・運営係等を役割分担させ、主体的な大会運営をさせる。 ※ゲームの中で、作戦タイムを使い自分や友達の動きを伝え合わせ、作戦を工夫させる。
		・教え合い活動のよさを互いに確認させる。 ※学習シートに自分や友達の動き、チームとしての動きを記入させ、伝え合い交流させる。		
		関心・意欲・態度① (観察) 健康・安全に留意し、場の安全を確かめている。 知識・理解① (シート) バレーボールの特性について、書き出している。	関心・意欲・態度③ (観察) 練習やゲームで、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとしている。 思考・判断① (シート) 練習やゲームから、自分の課題を見付けている。 技能①② (観察・シート) パスとレシーブで、ボールをコントロールし、サービスで相手コートに入れることができる。 知識・理解② (観察・シート) バレーボールに必要な技能の名称や行い方について、言ったり、書き出したりしている。	関心・意欲・態度② (観察・シート) バレーボールの集団的技能に着目して、作戦を立てて得点を競い合う楽しさを味わおうとしている。 思考・判断② (観察・シート) 練習やゲームから、チームの課題を見付けている。 技能③ (観察・シート) スパイクやブロックの動作ができる。 知識・理解② (観察・シート) バレーボールに必要な技能の名称や行い方について、言ったり、書き出したりしている。
(評価方法) 基準				

5 本時の学習

(1) 目標

- チームの作戦や相手の攻撃に応じて、スパイクやブロックの動きができるようにする。 (技能)
- 練習やゲームから、チームの課題を見付け、課題解決に取り組むことができるようにする。 (思考・判断)

(2) 評価基準

技能 (観察・学習シート)

- (B基準) チームの作戦に応じて、スパイクやブロックの動きができています。
- (A基準) チームの作戦や相手の攻撃に応じて、スパイクやブロックの動きができています。

思考・判断 (学習シート)

- (B基準) 練習やゲームから、チームの課題を見付け、課題解決に取り組むことができます。
- (A基準) 練習やゲームから、チームの課題を見付け、友達にアドバイスを送りながら課題解決に取り組むことができます。

(3) 展開 (最初の 10 分間は、他の選択種目と合同での準備運動及び補強運動)

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Aプロジェクトの視点	備考
導入 3分	1 集合、あいさつ、協力して準備をする。 2 本時の課題を確認する。 相手の攻撃に応じた、守り方を工夫しよう。	○それぞれの役割を果たして、素早く準備しよう。 ○相手の攻撃に応じた守り方には、どんな工夫があるでしょうか。	○前時の学習を振り返らせ、本時とのつながりを明確につかませる。	学習シート 学習資料 支柱 ネット ボール ビブス
展開 32分	3 学習1 (ドリルゲーム)の活動をする。【グループ】 (1) ボール2個ゲーム (2) ローテーションゲーム (3) チームで変化をつけたスパイク練習をする。 (4) スパイクをブロックで防ぐ練習をする。 4 学習2 (タスクゲーム)の活動をする。【グループ】 (1) 4対4のゲームを行う。(3分×2試合) (2) 作戦タイムでチームの動きを工夫する。	○お互いに声をかけ合い、ボールをつなごう。 ○三段攻撃を意識して、攻撃を組み立てよう。 ○ブロックに跳ぶタイミングを考えよう。	○技能ポイントや動きの気付きを言葉でまとめて掲示する。 ※運動技能のポイントについて、言葉で指摘し合い練習活動に生かしていく。 【評価：技能③(観察・シート)】 (B基準に達しない生徒への手立て)準備動作を意識させ、タイミングが合うような声かけを行う。 ※上手くいっている時の情報を言葉で互いに交換させる。 ※作戦タイムを使い自分や友達の動きを伝え合わせ、作戦を工夫させる。 ○ねらいとする攻撃につながるよう、サーブは簡易化する。	学習資料

<p>整理 5分</p>	<p>5 学習の振り返りをする。 (1) チームの動きを振り返る。 (2) 作戦タイムでの伝え合いについて振り返る。</p> <p>6 後片付けをする。</p>	<p>○チームで、今日の課題解決について話し合いをしよう。 ○学習シートに、自分やチームの振り返りを記録しよう。</p> <p>○全員で協力して、素早く片付けよう。</p>	<p>※課題に沿って学習の成果を話し合い、記録に残す。 【評価：思考・判断③（シート）】 〈B基準に達しない生徒への手立て〉 チームの作戦のどこでミスが起きていたか振り返らせる。</p>	<p>学習シート</p>
------------------	--	--	---	--------------